

デンスロー DST-i  
スキヤンツール補助金  
実績報告用「診断データ」  
CSV出力方法

1. 下記URLよりDST-Viewerを入手しインストールします。

<https://www.ds3.denso.co.jp/general/setup/dstviewer.html>

2. インストールが完了するとデスクトップ上にDST-Viewerのアイコンが作成されますので「DST-Viewer」をダブルクリックして、DST-Viewerを起動します。

ロゴ画面が表示された後、メインメニュー画面が表示されます。

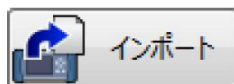
デスクトップ画面



ロゴ画面



メインメニュー画面



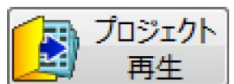
インポート

DST - iの診断結果ファイルを読み込み、表示します。



FAINES

日整連(日本自動車整備振興会連合会)が提供するFAINESのログイン画面をブラウザで開きます。



プロジェクト再生

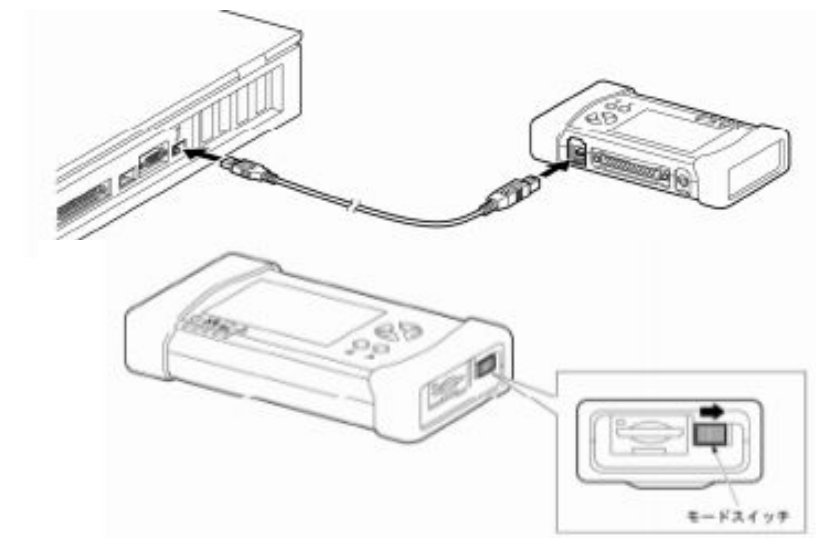
プロジェクトデータの管理や確認を行うことができます。



アプリ終了

DST-Viewerを終了します。

3. パソコンとDST-iをUSBケーブルで接続し、DST-iのモードスイッチをONにします。  
オープニング画面が表示されるので、その画面で待機させておきます。



DST-iオープニング画面



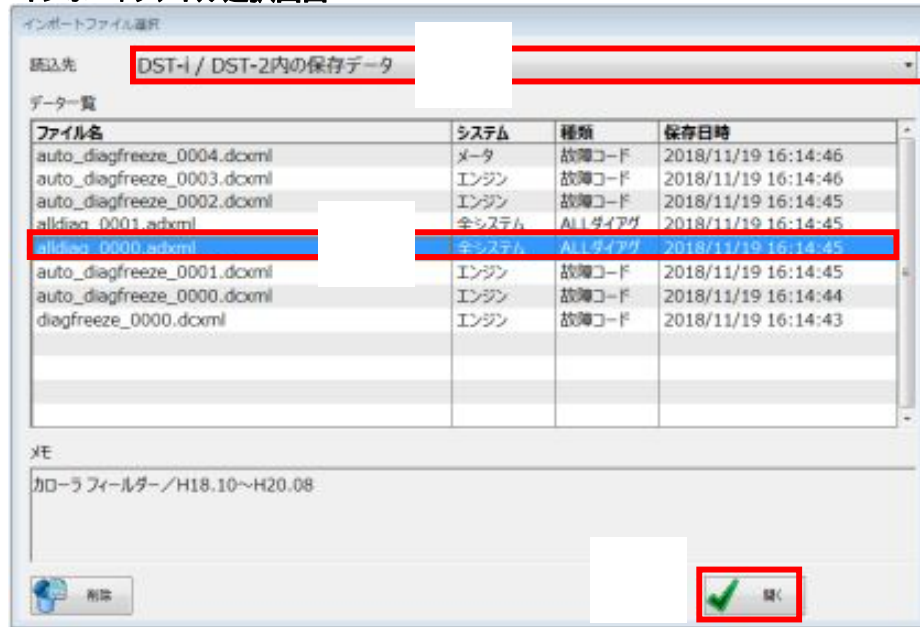
4. メインメニュー画面の「インポート」をクリックします。

メインメニュー画面

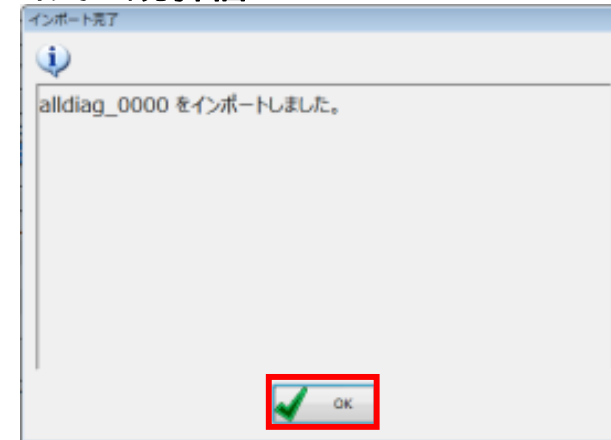


5. インポートファイル選択画面が表示されます。読込先選択部から「DST-i/DST-2内の保存データ」を選択するとDST-iに保存されているデータがデータ一覧項目に表示されますのでインポートしたいデータを選択し開くをクリックします。続いてインポート完了画面の「OK」をクリックします。

#### インポートファイル選択画面

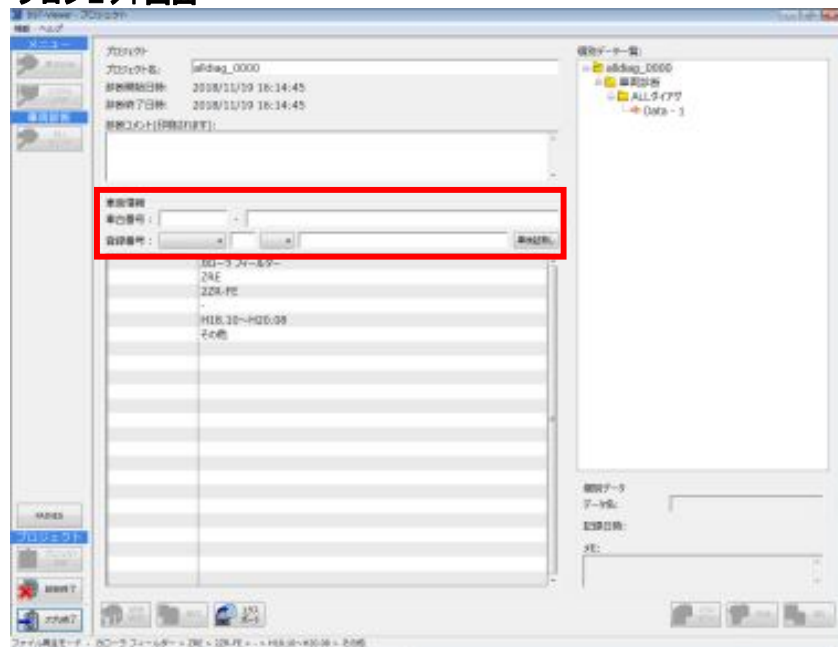


#### インポート完了画面



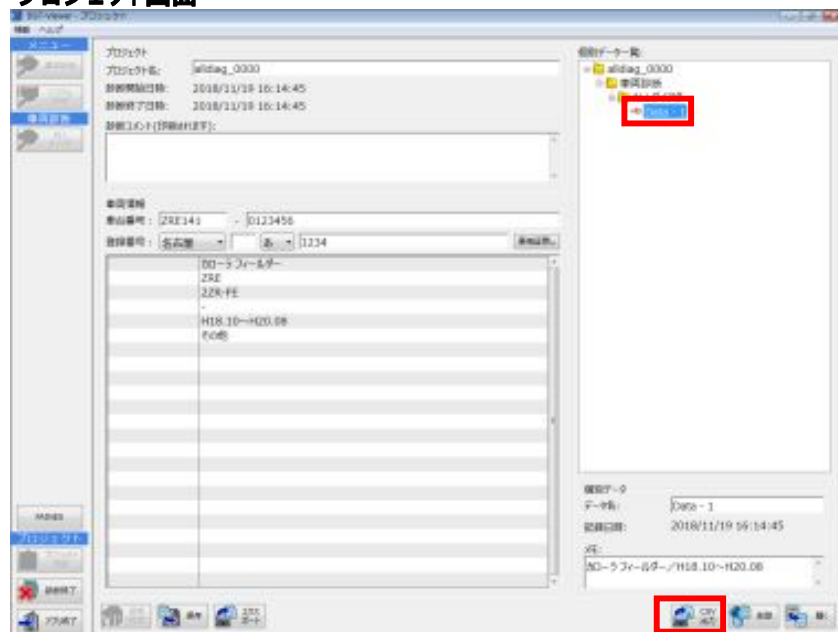
6. プロジェクト画面の車両情報部分に「車体番号」、「登録番号」を入力します。

プロジェクト画面



7. 「Data-1」を選択し「CSV出力」をクリックするとプロジェクト保存確認画面が表示されますので「はい」をクリックします。

プロジェクト画面

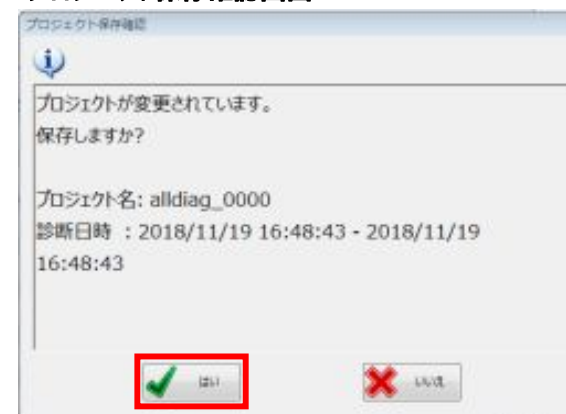


参考: 「開く」をクリックすると保存データの確認や印刷を行うことが可能です。

詳細はDST-Viewer取扱説明書をご確認ください。

[https://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals/DST-Viewer\\_manual\\_v370.pdf](https://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals/DST-Viewer_manual_v370.pdf)

プロジェクト保存確認画面



7. データ保存画面が表示されるためファイル名と保存する場所を任意で選択した後、データ保存画面の「保存」をクリックするとCSV形式に変換された計測データを保存して画面が閉じます。

#### データ保存画面



8. 「診断終了」をクリックすると診断終了確認画面が表示されるため「はい」をクリックします。

#### プロジェクト画面



#### 診断終了確認画面



9. DST-ViewerのTOP画面に戻ります。引き続きインポート作業を行う場合は「インポート」を、終了する場合は「アプリ終了」をクリックしてください。

#### メインメニュー画面



参考: インポートしたデータは「プロジェクト再生」から管理や確認を行うことができます。